

渋谷でマナブ

第 12 号
発行 2020年10月

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7
五島育英会ビル1階
TEL : 03-5428-3011
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shibuya/>

巻 頭 言

新型コロナウイルス感染拡大の中で 私を感じた日本の課題

東京渋谷学習センター 所長 宮本文人



新型コロナウイルスの流行により渡航禁止が始まった時、本当に驚きました。日本は、経済大国で、科学技術や医学も進んでおり、うまく対応できると思っていました。感染者数や死者数をみると、欧米や南米よりもはるかに良い状況ですが、アジアでは劣等生といわれています。日本の対応から、時間が経つにつれ、メッキが剥がれるように様々な課題が浮かび上がりました。私が個人的に感じた日本の課題を取り上げたいと思います。

第一に、今後、日本が世界で発展するためには、女性と若いリーダーが必要です。中国の大企業アリババ創業者であるジャック・マーは、日本のリーダーは銀髪の男性ばかりで、若者と女性がいなかったと言ったそうです。女性や若い人を含め、性別や年齢を超えた様々な人たちが、十分に能力を發揮しリーダーとして活躍することが重要です。そのためには社会的土壌や組織づくりが必要です。

新型コロナウイルス感染において死者数を少なく抑えたドイツ、ニュージーランド、デンマーク、フィンランドの首相は女性です。ドイツを除く3人は年齢が30、40代です。若い男性のリーダーでは、フランス大統領やカナダ首相は40歳代です。政治の世界を別にしても、若く優秀な人にとって、日本の官公庁や大企業は早期にトップの地位に昇れる組織ではありません。また、働く女性にとって、社会的に支援する制度や保育施設の整備が十分でないことも大きな問題です。

第二に、若い人は活躍するために合理的な説明能力を身に付ける必要があります。欧米のいくつかの国ではリーダーを育てる教育が根付いています。英米仏では、高校や大学で徹底した少人数教育が行われています。知識は膨大なので、調べ方や知識の活用が重視されます。問題について解決に向けた議論を行う中で説明能力が鍛えられます。日本では、教員当たりの児童・生徒数、学生数が多すぎるので、説明能力を磨く教育は困難です。

ドイツでは、メルケル首相の説明が合理的なので国民が納得していると聞きました。彼女の説明が、特別上手なのかも知れません。スウェーデンは、新型コロナウイルスで独自の対策を取っており、感染が広がっていた時には劣等生の扱いでした。しかし、首相の説明がぶれずに一貫しており、情報公開がきちんと行われているので、国民は安心して聞いて聞きます。欧米では、民主主義の確立に、長年、血を流してきた歴史があり、国民を納得させるため、情報公開やリーダーによる合理的な説明が必要になったと思います。

第三に、若い人の能力を引き出すために、高校と大学が繋がる柔軟な教育システムが必要です。日本の教育の問題は、大学入試が欧米と比べ特異であり、高校と大学の教育が分断されていることです。欧米では高校と大学の教育が柔軟に繋がっています。アメリカでは、高校の一部授業で大学の単位取得が可能です。高校生が州立大学の授業を受講することでも単位取得ができます。ヨーロッパの大学は学部が3年間です。大学の教養教育は高校または大学入学前に終わっています。フランスの経済学者トマ・ピケティは、22歳の時にロンドン大学で経済博士を取得して、同年にアメリカでMIT助教授になりました。日本には飛び級制度や早期卒業制度がありますが、あまり普及していません。どこかに問題があると思います。

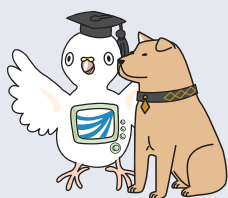
欧米は、多くの移民や低所得層がいるので格差も大きく、新型コロナウイルスの感染も酷い状況でした。しかし、女性や若者の社会進出を助け、その能力を生かす社会的土壌や組織があります。今後、日本が発展するためには学ぶべきであると思っています。

目 次

巻頭言「新型コロナウイルス感染拡大の中で私を感じた日本の課題」	1
東京渋谷学習センター所長 宮本文人	

コラム

「江戸通貨をめぐる2つのハテナ」 牧野文夫	2
「中国のデジタル化と日本の未来」 三浦俊彦	3
東京渋谷学習センター 第2学期予定表	4
センターの現在の開所状況	5
郵便による学生証の申請・交付、第2学期単位認定試験	6



江戸通貨をめぐる 2つのハテナ

牧野文夫

客員教授（法政大学教授）



江戸期以前のわが国の通貨としては、国内における鑄造技術の未発達ゆえに、永楽通宝をはじめとして中国からの渡来銭がおもに使用されていた。これは国内各地で出土された銭から確認できる。またかの織田信長が永楽銭を旗印のデザインに使っていたとは恐れ入るが、かくも有り難く外国通貨を崇め使っていたとは、いささか信じたくない時代であった。江戸期になって、幕府が鑄造したわが国固有の通貨が初めて全国的に通用するようになった。鎖国政策は通貨面での対中依存からの自立を果たし、経済面からのナショナリズムの形成に寄与したと評価できる。

江戸期の通貨制度は三貨制度といって、金、銀、銅の三種類の金属素材が貨幣材料に用いられていた。金貨は額面が価値を表す「計数通貨」でおもに東日本で使われたのに対し、銀貨はその重量が価値を表す「秤量通貨」でおもに西日本で流通した。銅銭は金貨・銀貨の補助貨幣として庶民の日常生活上の取引に用いられていた。金貨(両)と銀貨(貫)は価値の評価基準が異なるわけだから、現代の外国為替市場と同様に両者を換算する必要性が生まれる。その業務を担当した商人が文字通り「両替商」と呼ばれた所以である。

さて、東日本で使われていた金貨は、小判1両を基準にして、両以下を1両＝4分＝16朱という換算による四進法の単位が使われた。また補助貨幣の銅銭に対しても1両＝4000文（4貫文）という四進法の換算

率であった。この四進法システムは、もともと甲斐の武田氏が採用していたものを、徳川幕府がそのまま引き継いだといわれている。しかしその武田氏がなぜ簡便と思える十進法でなく四進法を採用したのか、これが第1のハテナである。

江戸中期になると画期的な通貨制度改革が行われた。田沼意次による計数銀貨（南鐐二朱銀）の導入である。これによって、通貨制度は、それまでの金銀複本位制から金本位制に転換することになった。ところで、この南鐐二朱銀であるが、表面には「以南鐐八片換小判一両」という何ともはや複雑な漢文が刻印されていた。この銀貨8枚が小判1両に相当するという意味で、結果的にそれが2朱銀貨となる。なぜ単に「二朱」と刻印せずこのようなクイズまがいの文を使ったのか、単なる洒落では解釈できない第2のハテナである。2朱は現代の価値では1万円位なので、庶民にとってはまったく縁遠い貨幣ではなかったと思われる。分かりにくいとの苦情は出なかったのか、あるいは何が書いてあるか分からなくても、それを単なるデザインとしてしか見ていなかったのが問題がなかったのか、改めて難解な表現を用いた制作者の意図は不明である。

四進法体系、南鐐二朱銀いづれにしても、それに慣れ親しんでしまえば苦にならないのかもしれない。公教育制採用以前の江戸期の人々は、かなり高度な計算能力を備えていたと、解釈しておこう。

中国のデジタル化と日本の未来



三浦俊彦

客員教授（中央大学教授）

昨秋、中大のプロジェクトで、上海にキャッシュレス社会の調査に行った。

11年ぶりの中国だったが、まず印象に残ったのが街を走る車の秩序だった動きである。11年前は、ブーブー警笛を鳴らしながら走っていたのが、いまや東京と変わらない。理由はカメラである。交差点など主だった個所にカメラが多数設置され、日夜情報を収集し、AI（人工知能）処理して違反をすぐ見つける。実際、インタビューした邦銀上海支店の中国人社員の方が言っていたが、「(友達が) 車線変更禁止区間で車線変更したところ、2時間後に、彼のスマホに罰金メールが来た」そうである。

キャッシュレス化も進んでおり、中国人が皆アリペイ（アリババの電子決済）かウィーチャットペイ（テンセントの電子決済）で支払いをするので、滞在中、調査グループでショッピングセンターの食堂で食事をした際、中国元（紙幣）で払ったところ、おつり（現金）がレジになかった。しょうがないので、通訳と一緒に来た中国人大学院生がアリペイで払ってくれた。

スーパーやコンビニをはじめ小売店ではアリペイなどのキャッシュレス決済が当たり前であるが、ホテルなどもそうである。スーパーなどにセルフレジを卸している上海商米公司という会社で見せてもらったのが、ホテルのセルフ・チェックイン機である。まず中国の身分証明カードをかざした後、顔認証などを行い、アリペイなどで支払う。身分証明カードをかざすので、日本のように、宿泊者名簿に書く必要もない（ペーパーレス化）。

身分証明カードは、15歳になると中国人全員が持ち、これがないとホテルに泊まらないだけでなく、長距離鉄道（上海—広州など）にも乗れないし、飛行機にも乗れない。つまりちょっと旅行すれば、すべての行動履歴の情報が、自分のID（身分証明書）に紐づけられるのである。スーパーその他の購買もアリペイなどで電子決済するので、それらの購買情報も紐づけられる。中国のデジタル（情報化）社会では、購買情報、移動情報など、消費者の膨大な情報が紐づけられ、それを基に、政府や企業は消費者に快適な生活を提供している。

情報と言うと、プライバシーの話が出てくるが、管理側としては情報は不可欠である。大学では、すべての学生に学籍番号を付与し、学費の支払いも成績の管理・送付もすべて学籍番号に基づき行っているが、学生は誰も文句を言わない。中国は、この大学のシステム（会社も同様）を、国家全体に広げて、効率的で便利な社会を着々と作り上げている。

もちろん個人情報の取り扱いについては、議論を尽くす必要があるが、それ以前に日本の情報化は遅れている。今回のコロナ禍でもさまざまな手続きの煩雑さに情報化の遅れが表れていたが、企業のリモートワークへの戦略もなかなか定まらない。「欧州、在宅勤務が標準に」という見出しが日本経済新聞の一面を飾ったが（2020. 6. 13）、欧米も一歩先を進んでいる。

欧米中をはじめとする世界的情報化（デジタル化）の波にどう対応するか。日本企業、日本社会の対応が、いま問われている。

2020年度 第2学期

10

October

月	火	水	木	金	土	日
*	*		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

11

November

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	*	*	*	*	*	*

12

December

月	火	水	木	金	土	日
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	*	*	*

1

January

月	火	水	木	金	土	日
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2

February

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3

March

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

	閉所 月曜、祝日、学長又はセンター所長が定めた日		単位認定試験 (学部・大学院) 1/13~21 (変更後の日程)
	面接授業 10/17~2/3		教員免許更新講習試験 2/27、28
	入学者の集い 10/10 ※2学期は中止。		図書・視聴学習室のみ閉室 3/30、31

開所時間 ※1 (2020/10/1現在) 新型コロナウイルス感染対策のため一部短縮開所としており、ご利用は事前予約制です。

	センター(電話受付)	図書・視聴学習室	事務室
一部短縮開所期間 火~日	9:30~12:00 13:00~18:00	10:30~12:30 13:30~15:30 ※2 事前予約利用のみ	10:30~12:00 13:30~16:00 ※2 事前予約利用のみ

- ※1 新型コロナウイルス感染状況等により、開所・利用日時等を変更する場合があります。変更した場合は学習センターの掲示板やセンターホームページ等でお知らせします。(通常期間の開所時間については、利用の手引きをご覧ください。)
- ※2 利用申込みの方法は、本紙 P5 またはセンターホームページをご覧ください。

～新型コロナウイルス感染対策をとりながら

一部利用制限を行い、利用時間を短縮して事前予約制で開所中～

利用可能な場所と対応している業務は以下のとおりです。いずれも事前予約制となっておりますのでよくお読みいただき、利用の申込みをしてください。

【注意事項】 ※利用（来所）は、東京渋谷学習センター所属の在学生が対象

- ・マスクを着用されていない方、発熱等の風邪症状のある方は入所できません。
- ・来所前に検温をお願いします。受付時に確認・記録させていただきます。
- ・学生証（有効期限内）を持参してください。持っていない場合は、【有効期限切れの学生証、入学許可書、顔写真付きの身分証明書】のいずれかを持参してください。
- ・予約した用件以外は対応しません。用件を検討の上、まとめて申し込んでください。
- ・予約後、ご都合が悪くなった場合は連絡をしてください。
- ・入所はご利用者のみです。原則ご同伴者の入所はできません。
- ・視聴学習に使用するヘッドホン・イヤホンをご持参ください。（ワイヤレス不可）
- ・学生証の再発行、一般証明書発行を希望する方は、可能な限り事前に発行願・交付願を記入し、ご持参ください。

【利用場所、利用時間、対応業務】 ※学生ロビー・多目的学習室は、利用不可。

■ 事務室 10:30～11:00、11:00～11:30

13:30～14:00、14:00～14:30、14:30～15:00、15:00～15:30

- ①学生証の交付・再発行 ②一般証明書の当日発行 ③学割証の当日発行
- ④学研災の加入手続き ⑤印刷教材等の購入 ⑥図書の貸出、返却
- ⑦文献複写資料の受取り

【学生証は郵便での申請・交付も行っております。※事務室が短縮対応のため】

【特殊証明書は現在、郵便のみの申請・受取りとしております。

一般証明書も郵便で申請・受取が可能です。】

■ 図書・視聴学習室 10:30～12:30、13:30～15:30 各時間帯5名までです。

- ⑧図書・視聴学習室の利用（CD/DVD、PC利用の有無をお知らせください）

【プリンター、コピー機はご利用できません。】

【申込内容、方法】 利用月の前月20日より受付開始。

利用希望日前日の午前中までに、電話またはメール（●）で以下の内容をお知らせください。

- 1) 氏名
- 2) 学生番号・所属学習センター
- 3) 来所日時（第1～3希望）
- 4) 目的（上記番号）
- 5) 日中の連絡先（電話、メールアドレス）
- 6) 学生証（有効期限内）の有無

電話：03-5428-3011（9:30～12:00、13:00～18:00）

メール：info_shibuya-sc@ouj.ac.jp ●先着順のため、メールを受信した日は電話での申込みを優先します（18時以降に受け付けしたものとみなします）。

新型コロナウイルス感染状況等により開所日時等を変更する場合があります。

予めご了承ください。状況は定期的にホームページで確認してください。

【郵便による学生証の申請・交付】

新型コロナウイルス感染対策のため事務室対応を短縮している間は、学生証の申請・交付を郵便でも行っていますので、ご利用ください。ご希望の方は、以下の書類等を東京渋谷学習センターまで郵送してください。 ※東京渋谷学習センター所属学生のみ。

◆申請書（様式任意）◆

「郵送希望」と記載の上、学生番号、氏名、生年月日、送付先住所を記載してください。

◆本人確認のための書類等◆

〔2020年度第1学期入学者〕 ※以下の書類のうち、1つ

- ・入学許可書のコピー
 - ・顔写真付きの公的な身分証明書（運転免許証、パスポート等）のコピー
- ※継続入学者は、お手元にある学生証も送付してください。

〔2020年度第2学期入学者〕

- ・交付方法について、葉書でご案内しております。

〔在学生〕

- ・有効期限切れの学生証

◆返信用封筒◆

送付先住所、宛名を記載し、必ず返信用切手244円分（特定記録郵便）を貼付してください。お手元に到着するまでに時間を要することがあります。予めご了承ください。

郵送先：〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル1階
放送大学東京渋谷学習センター

【2020年度第2学期単位認定試験の実施】

2020年度第2学期の単位認定試験についても新型コロナウイルス感染拡大の可能性を考慮し、代替え措置による自宅受験となります。

1) 単位認定試験期間

2021年1月13日（水）～1月21日（木）（消印有効）※当初の日程から変更。

2) 単位認定試験実施方法

実施方法については、2020年度第1学期に準じた方法（自宅で答案を作成し、郵便で提出する）にて実施予定です。

なお、詳細は郵便や大学ホームページ、システムWAKABA等で順次お知らせとなりますので、必ずご確認ください。また、登録している住所が誤っている場合、単位認定試験の受験に必要な受験票や解答用紙等、郵便物の未着や遅延が発生します。登録住所に誤りや変更がないか、改めてご確認くださいませようお願いします。

新型コロナウイルス感染対策により通常時の対応と異なることが多くなっています。その情報の多くは、ホームページ、システムWAKABAで発信されますので、定期的に確認をお願いします。